

第56回「市民の皆さんとランチで対話」概要

団 体 名	能代市野球協会、能代市ソフトボール協会、能代市マレットゴルフ協会
開 催 日 時	平成23年4月19日（火） 正午 ～ 午後1時00分
開 催 場 所	市長応接室
出 席 者	後藤健さん（3協会の会長）能代市野球協会（4人） 能代市ソフトボール協会（2人）能代市マレットゴルフ協会（3人） 合計10人 市：市長、スポーツ振興課長、学校教育課長、林業木材振興課長、地域情報課長、 広報広聴係
案 件	落合三面球場へのトイレ設置の着工時期について 土床式体育館の建設について リトルシニア日本選手権東北大会の開催の協力について 風の松原へのマレットゴルフ場整備について 学童野球大会「山田久志杯」の補助金について 学校の先生の対応について
会議の概要	市長との対話内容 落合三面球場へのトイレ設置の着工時期について 協会：野球協会、ソフトボール協会で要望してきた事項に予算をつけていただき、ありがたく思う。着工、完成の予定はいつ頃になるのか。 市長：計画では7月中までに設計を完了し、8月に契約。9月から着工して、11月に完成という予定。 土床式体育館の建設について 協会：冬場の体育館は人気があり予約するのが難しい。今の時代、新たに土地をもとめて、建物を建てることには市民の理解も得られないと思う。しかし、統廃合した学校があり、その体育館を有効活用して、土床式にできないものか。 市長：空いている体育館といえば二小だが、耐震性を考えると使用ができない。日影小もあるが、耐震性がよければ、日影小でもいいが、土床の場合、冬に使うのがメインで、雪寄せをしてまで使うかどうか。二ツ井小学校の体育館を土床で使えないかと要望もあるので、耐震を確認して、二ツ井地区の皆様の要望が強ければ、そういう使い方もあると思う。 リトルシニア日本選手権東北大会の開催の協力について 協会：宮城で予定していたリトルシニア東北大会が震災により、宮城県での開催ができなくなり、今年は、秋田県で開催することに決まった。能代では山田サブマリン球場、峰浜、藤里、二ツ井、八森と各関係者に協力をいただき球場を確保できた。毎年6月の大会で東北6県59チームが参加。昨年の例でいえば、2,000人前後の関係者が能代にくると見込んでいる。市内は自粛ムードで、多くの店が悲鳴をあげている中、シニアの発展とともに、何とか地域経済の発展に貢献できないかと考えている。具体的な話はまだまだが、このことについて市のバックアップをお願いしたい。 市長：市としてどういう協力をしてほしいのか、その辺のところがはっきりしてく

	れば、検討し対応したいが、たとえば施設の無料など、できる限り協力して、リトルシニアの大会を成功させたい。 風の松原へのマレットゴルフ場整備について 協会：能代では落合にマレットゴルフ場があるが、風の松原にできれば、東北でも例がない規模となる。「風の松原」のアピール、健康作りにもなる。毎年のように東北大会や全国大会のどれかは開催でき、誘客もはかれる。協会単独として（管理している）営林署に相談してもうまくいかないため、市と一緒に働きかけをお願いしたい。コースを作るために、木を伐採したり、元々あるものに手を付け加えてのコース作りではなく、自然を生かしたコースづくりである。また、いくつかのカップの芯棒が壊れており、購入についても検討していただきたい。 市長：「風の松原」は米代西部森林管理署の管理下である。管理上の問題もあり、また、市民の皆さんや風の松原に守られる人々の会など自然保護的な活動をしている人たちがいる。そういう団体の人たちと相談ということになるので、市として「いいです」「悪いです」と答えを出せる状況ではない。また、木を切ることより、踏み固められることが問題なので、やはり各関係者のご理解をいただかなければ前へ進まないの、そういう機会を作るようにしたいが、なかなか理解をえられるのは難しいかと思われる。カップについては検討したい。 その他、学童野球大会「山田久志杯」の補助金についてやスポ少化に伴い、学校の先生の対応について話し合われました。 以上でした。
検討事項	